

台風第7号のレーダー PPI 写真

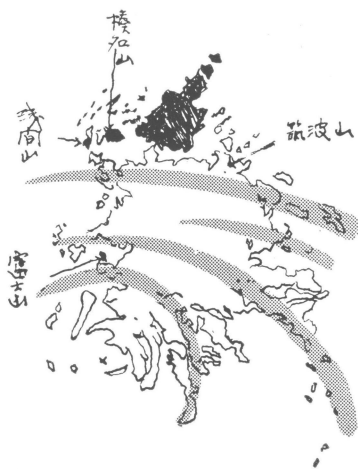


図-1

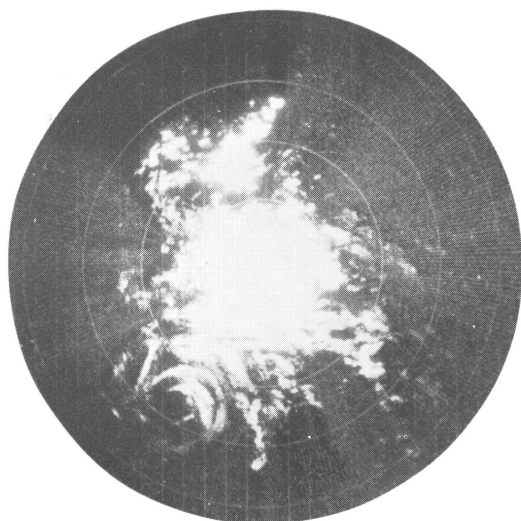


写真-1

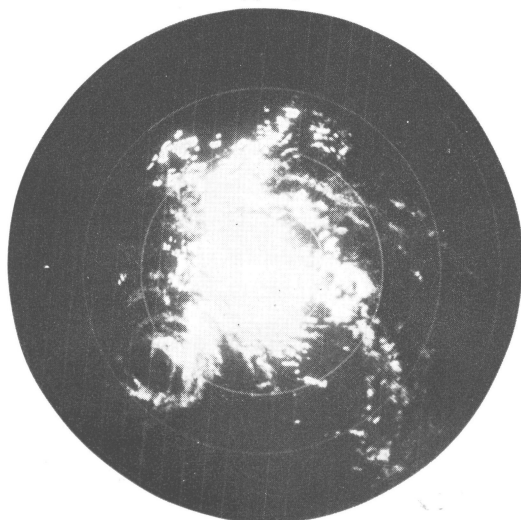


写真-2

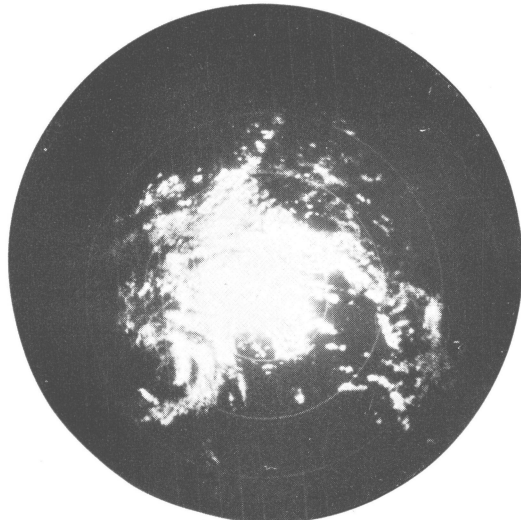


写真-3

台風が本土に接近し富士川河口に上陸した時のレーダー写真である。各写真ともレンジは 300km、同心円の間隔は各々 60km である。高度角は $0.5^{\circ} \sim 1.2^{\circ}$ で撮影したものである。

写真-1 8月14日午前5時14分撮影 エコーの中心は東京の南西 175km 付近、中心より半径 100km 以内に5本のレインバンドが見られる。これをインナーバンドと云っている。その外側に3本の発達したレインバンドがあり(図-1)これをアウターバンドと云っている。この分類は見かけ上のもので力学的性質についてはまだよくわかっていないが経験的には今迄の多くの台風、ハリケーンで観測されている。

写真-2 午前5時55分撮影、中心は伊豆半島西岸を指向しており前の写真からわかるように中心はかなり早く約 60km/h で、北北西に動いている。同時にアウターバンドが発達しているのがわかる。

写真-3 午前6時30分撮影、中心が丁度富士川河口にあって上陸した時のものである。この様に台風にもなったレインバンドが明瞭で中心附近のバンドが円形に見られ進行方向の後面で僅かに認められている。後面にエコーがないのは通過後晴れて来たことからわかる。

また気圧の中心とエコーの中心との喰い違いも小さかった。

(東管技術課レーダー係、大塚茂)